

潮騒の駅根府川・江之浦漁港コース



歩いて、未病を改善！ 小田原市 No.04
 神奈川県・県西地域ウォーキング

「みかんの花咲く丘」の情景と鉄道の歴史をたどる道



アクセス

S スタート JR東海道線「根府川駅」

G ゴール JR東海道線「根府川駅」

※コース詳細は小田原市ホームページをご参照ください。
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/walking>

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
7.6km	2時間05分	437kcal
高低差	歩数	
148.1m	9,935歩	

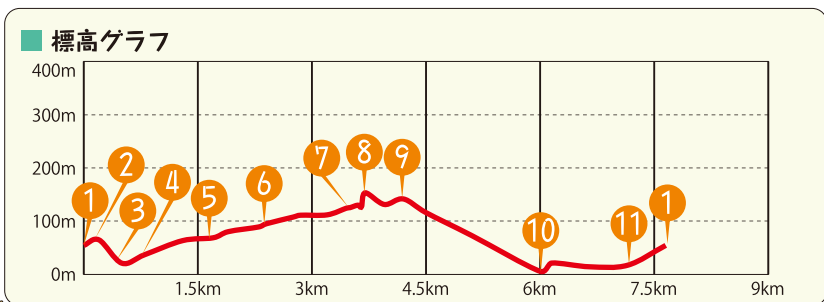
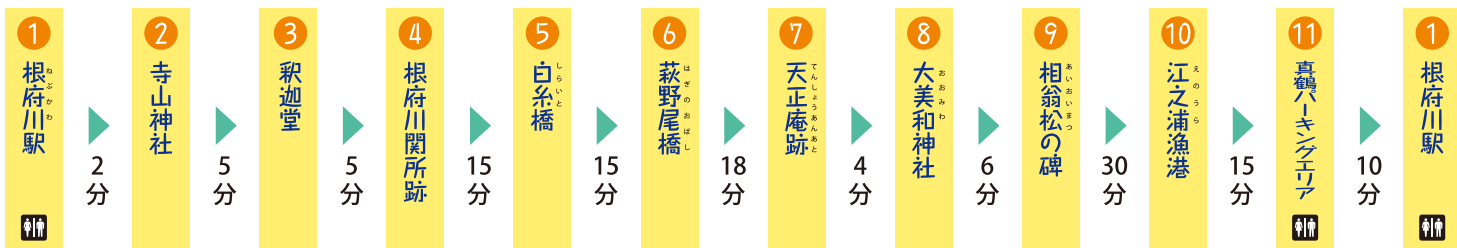


コースの魅力

【花木】 おかめ桜(2月下旬～3月下旬)、みかんの花(5月頃)

【歴史】 寺山神社、釈迦堂、根府川関所跡、天正庵跡、大美和神社、相翁松の碑、豆相人車鉄道根府川駅跡、豆相人車鉄道江之浦駅跡

【★選】 白糸橋(かながわの橋100選)、白糸川橋梁(かながわの橋100選)、根府川駅(関東の駅百選)



コースの概要

「関東の駅百選」にも選ばれた風光明媚な根府川駅からの周遊コース。太陽の光が燦々と降りそそぎ、みかん栽培が盛んなこの地域。毎年みかんの花の季節(5月頃)になると童謡「みかんの花咲く丘」を彷彿とさせる景色が広がります。また、白糸川にかかる赤い鉄橋「白糸川橋梁」は撮影ポイントとしても有名。多岐に渡る景観を楽しみながら歩ける海辺の散歩道です。

鹿島踊りで有名!



寺山神社

かつては「寺山権現」と呼ばれていましたが、明治元年に寺山神社と改称。毎年7月第3日曜の祭礼で奉納される「鹿島踊り」は、神奈川県無形民俗文化財に指定されており、悪疫退散、地域平安や航海安全などの「おまじない」とされています。

かながわの橋100選の美しさ



白糸川橋梁

根府川駅近く、白糸川の清流にかかる赤い鉄橋は、その景観の美しさから「かながわの橋100選」に選定されています。青い海と空、山々の緑、そして真っ赤な橋のコントラストは多くの鉄道ファンを魅了し、訪れる人も多い撮影スポットです。

※歩行距離と歩行時間は、小田原市のデータを参照。 ※高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和2年2月現在のものです。



ウォーキング MAP



- ルールとアドバイス**
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
 - 4 水分の補給をこまめにしましょう



鉄道の歴史街道を訪ねる

豆相人車鉄道

かつて、人間が客車を押すという世界的にも珍しい人車鉄道が小田原・熱海間を走っていた時代があります。当時30軒ほどの保養地だった熱海には、政財界の大物や文人が盛んに訪れていました。しかし、東京・横浜方面からは海沿いの険しい道を歩くか駕籠か人力車もなく、鉄道開通に至ったのです。6両編成で1車両に6人ほど、2〜3人の車夫が押したといわれています。明治41年に軽便鉄道に転身、関東大震災で軌道が寸断され復旧を断念、翌年に幕を閉じました。根府川駅跡には案内板が、米神駅跡や江之浦駅跡には表示タイルが設置されています。



ひと足早く春を楽しむ

おかめ桜

「おかめ桜」は、豆桜と寒緋桜とのかけ合わせで生まれた品種。ソメイヨシノより早咲きで、濃いピンク色の小さい可憐な花を咲かせます。片浦地区では大小約500本が見頃となる2月下旬〜3月下旬に「おかめ桜まつり」が開催され、様々なサービスやイベントで賑わいます。



「未病」を改善すれば、人生はもっと楽しめる。
 「かながわ県西地域」で未病を改善!!

県西地域活性化

検索

発行：神奈川県県西地域県政総合センター商工観光課
 令和2年3月発行 電話(0465)32-8908